

# 下請け単価、日本郵便が最低

## ここにも現場無視の体質が露わに

2月22日の新聞に「下請けへの価格転嫁 日本郵便が最低評価」という記事が乗っていました。その記事は、「中小企業庁は、発注元の企業が物価高騰によるコスト上昇分を下請け企業との取引価格に反映しているかどうかを調べた結果を公表した。最低評価は日本郵便だった」というものです。

### 配達業者の

### 過酷な実態

ゆうパックスの多くは下請け業者に委託して行われています。業者によっては朝の7時から居住確認、配達順路等を行って配達に向かいます。その場合に時間指定を優先し、マンション等に住む居住者には宅配ボックスが使用できる時間内（宅配ボックスの数が少ない所は取り合いません）に着くように急ぎます。それを終えると順路に沿って配達を行います。狭い道の走行や駐車場を確保しながらの確保は手間もかかります。それらの勤務を終えて終了

するのは多い日で21時過ぎです。しかも、ガソリン代は自分持ちです。

これほどまでにやっているのに日本郵便が業者に払う価格は最低というのは酷い話です。

### 現場無視の一方で

### 楽天等に投資

郵政はオーストラリアのトールの買収で数千億円の赤字をつ

くり、最近では楽天に1500億円投資しています。

その一方で、ゆうパックスの配達でなくてはならない業者に最低の価格しか出してないというのは企業としての社会的責任が問われます。現場に働く労働者無視の体質は7年連続してゼロにも現れており、この体質を変えていくためにもこの春闘を勝利させていきましょう。



### かべ新聞を見た社員からの声

前号の地本壁新聞は「今年の春闘要求は正社員29000円、非正規社員の時給1500円以上」と書きました。

その記事を見た社員から「この異常な物価高、私が求めている金額を掲げてくれている」という声が上がったといえます。賃上げは誰もが願っていることです。我慢をせずにこうした声と運動がもっと広がってほしいものです。